

取材案内・一般聴講者募集

立命館アジア太平洋大学
2017年11月15日 配信 APUリリース 2017-37

「おおいた遺産」を活用した地域づくり —若い世代が考える大分—

11月20日(月)9:30- 別府市公会堂にて学生発表会開催

APUでは、2017年1月に包括的連携協定を締結した大分合同新聞社との連携により、アジア太平洋学部の正課の授業として、10月から「特殊講義(観光学)」を開講しています。受講学生35名は、2ヶ月かけて、宇佐神宮と六郷満山、大野川流域と石仏文化、大友宗麟とキリシタン文化といった大分の歴史、自然、文化などを、講義とフィールドワークの両方で学んできました。

この度、受講学生が、学んできたことを参考にしながら、大分県の観光地域づくりについて発表します。どなたでもご参加いただけます。若い世代がフレッシュな目線で考える大分の地域づくりについて、ご興味のある方は是非お越しください。

【概要】

日時： 2017年11月20日(月)9:30 - 12:30(開場9:15)
会場： 別府市公会堂 1階講座室
言語： 日本語
参加対象： 学生、一般の方
定員： 100名(先着順・無料・申し込み不要)
共催： 立命館アジア太平洋大学・大分合同新聞社

【スケジュール】

9:30 挨拶 神足博美大分合同新聞社特別顧問
9:35 課題提起「おおいたのグローバル観光競争力の実態とポテンシャル」
久保隆行 立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部准教授
10:00 APU学生によるプレゼンテーション
7チーム 1チーム各20分(質疑応答含む)
12:30 閉会

※詳細は、添付の資料をご覧ください。